

～～第8471回～～

富士吉田口登山道Ⅱ

～H30. 7. 1～

明け方の雨が上がり、明るくなった安倍川駅前を車3台で出発。静岡 IC 入口で1人乗車し、13人での山行。富士吉田口登山道馬返し(1450m)の駐車場へ。今日は山梨県側の富士山山開きの日とあって、駐車場は既に一杯で、少し戻って路肩になんとか3台駐車できる。トレランで山頂へ向かう人達が多く、ストレッチしている横を何人かが走っていく。丸太や石の階段を登って行く。所々に石畳もあり歩きにくい。一合目(1520m)鈴原天照大神社跡。二合目(1700m)富士御室浅間神社跡。三合目(1840m)見晴小屋跡。少し勾配が急になり四合目(2010m)大黒小屋跡。四合五勺には御座石浅間の社と井上小屋跡が並んでいる。溶岩が露出したような登山道になり歩きにくい。五合目(2305m)中宮には「中宮役場」があり江戸時代には「山役銭(ヤマヤクセン)」という122文の入山料を回収する所だったが、その後「登山切手」が発行される仕組みになり、これを改める場となった。中宮を過ぎると5分程で、たばこ屋小屋跡。不動小屋跡も過ぎ、まもなく五合目富士山雲切不動神社がある。一度滝沢林道に出るが、すぐ狭い登山道に。フジハタザオの白い花に元気を貰いながら登って行くと、五合目(2230m)佐藤小屋。2～3分で里見平星観荘。夜はきれいな星空を見る事が出来るのだろう。トイレもあり少し休憩して、日蓮上人の立像を過ぎ、気持ちのいい樹林帯を登ってスバルライン終点(五合目)からのルートと合流する五合五勺(2390m)砂ふるいに着く。八合目からここ五合五勺の「砂ふるい」まで「ハシリ」と称する下山道があり、体に着いた砂をはらい昔は痛んだわらじを新しいわらじに履き替えたという。ここで昼食。夏らしい富士山が見える。帰路馬返しの駐車場手前の鳥居の下で、富士講の信者の人達だろうか、開山を祝って御題目を唱えていた。クールダウンのストレッチ後帰路に着く。蒸し暑い一日だったが、樹林帯を歩く気持ちのいい山行だった。

参加者：13名(静岡西12、静岡北1)

天候：晴れ

地図：須走・富士山

コースタイム：安倍川駅前 500＝馬返し駐車場 720…一合目 730…二合目 805…三合目 823…四合目 850…四合五勺 905…五合目 930…星観荘 953…砂ふるい 1035-1105…四合目 1205…二合目 1240…一合目 1302…馬返し駐車場 1320＝安倍川駅前 1610

記録：静岡西支部 K・M